

令和5年度事業報告

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

令和5年度において協会が実施した事業は、次のとおりである。

1. 総会

令和5年度通常総会を令和5年6月14日(水)に第一ホテル東京(東京都港区)において開催した。

総会では、山田 修会長が議長となり、第1号議案「令和4年度事業報告の承認に関する件」、第2号議案「令和4年度決算報告の承認に関する件」及び第3号議案「任期満了に伴う役員の改選に関する件」が審議され、いずれも全会一致で原案のとおり承認、決議された。

なお、総会に引き続き開催したリネンサプライセミナーの終了後、懇親会を開催した。

2. 理事会・常任理事会、各委員会等

理事会、常任理事会及び委員会等の開催状況は、以下のとおりであり、詳細については、別紙1「令和5年度会務報告」のとおりである。

また、令和6年3月、外国人材の受入れを維持・継続するための方策を審議する「育成就労に関する特別委員会」を新設した。

委員会等の一部ではオンライン会議が行われた。

開催状況

(1) 理事会	6回	(5回)
(2) 常任理事会	3回	(3回)
(3) 調査委員会	5回	(4回)
(4) 広報委員会	3回	(3回)
(5) 企画委員会	2回	(0回)
(6) 評価認定委員会	8回	(8回)
(7) 環境衛生部会	7回	(3回)
(8) リネンサプライ研究会	4回	(4回)
(9) リネンサプライ技能実習評価委員会	1回	(2回)
(10) リネンサプライ技能実習評価試験委員会	1回	(2回)

() は前年度実績

3. リネンサプライセミナー

リネンサプライセミナーを令和5年6月14日(水)に第一ホテル東京において開催した。(参加者196名)

なお、セミナー冒頭において新役員の紹介を行い、堀井正隆新会長が就任挨拶を行った。

第1部 講演 「激動する世界 ～日本の針路を考える～」
講師 長谷川 幸 洋 氏 (ジャーナリスト)

第2部 発表 「協会の新たな理念の策定について」
発表者 リネンサプライ研究会
山 田 裕 之 武 田 揚 介

4. リネンサプライ講習会

リネンサプライ講習会を令和6年1月18日（木）～19日（金）に、「人材不足の解消」をテーマに、京都市で開催した。（参加者290名）

第1日 講習会 ハイアットリージェンシー京都

第1部 パネルディスカッション

「人材不足の解消」

コーディネーター

廣瀬 純 平 常任理事（環境衛生部会長）

パネリスト

①「自在確保のためのテクニック」

山田 裕之（株）ベネック 代表取締役専務

武田 揚介（株）巴屋 代表取締役社長

伊藤 伸宏 東京航空クリーニング（株）本部長

②「工場の更なる省人化に向けて」

齋藤 豊（株）アサヒ製作所 渉外広報室室長

志村 晴仁 アイナックス稲本（株）JENSEN事業推進本部 事業推進
統括部長

葛西 秀之（株）東京洗染機械製作所 執行役員 営業企画本部本部長

③「洗剤、資材で出来る工場の省人省力化」

立川 暢一（株）廣瀬商会 リネンサプライ事業本部 化成品部部長

毛利 輝高 ライオンハイジーン（株）広域営業部 広域クリーニング
営業所 アシスタントマネージャー

第2部 工場設備概要説明

廣瀬 純 平 新日本ウエックス（株）代表取締役社長

杉山 一幸 新日本ウエックス（株）取締役常務執行役員 生産本部
統括

第2日 工場見学会 新日本ウエックス（株）京都第1工場

5. リネンサプライ業技能講習会

リネンサプライに関する技術及び知識を習得することを目的としたリネンサプライ業技能講習会（初級、中級、上級）を実施した。

開催状況

	日 程	開 催 地	受講者数	認定証交付数
初級	令和5年 5月31日(水)	東京	107名	93名
	令和5年 6月 7日(水)	大阪	111名	105名
		(計)	218名	198名)
中級	令和5年10月 3日(火)、 4日(水)	東京	80名	39名
	令和5年10月17日(火)、18日(水)	大阪	67名	40名
		(計)	147名	79名)
上級	令和6年 2月21日(水)、22日(木)	東京	75名	45名

6. 衛生基準認定事業

衛生基準認定制度に基づく認定審査（書類審査、実地調査）を実施し、36工場を認定した。

認定状況

令和5年	8月1日認定	18工場	(更新 6工場、新規12工場)
令和6年	2月1日認定	18工場	(更新15工場、新規 3工場)
	合計	36工場	(更新21工場、新規15工場)

認定工場数（令和6年3月31日現在） 159工場

7. 指定洗濯物検体検査事業

会員のリネンサプライ工場を対象とする指定洗濯物（タオル）の検体検査事業（前期、後期）を実施した。

対象施設数	:	前期	160社	201工場
		後期	160社	202工場

8. 普及啓発推進事業

(1) 機関誌の発行

機関誌「リネンサプライ」を3回（春季号、秋季号、新春号）発行し、会員及び関係機関に配付した。

(2) 普及啓発事業（工場見学会）

リネンサプライ業の理解及び認知度を高めるため、ホテル・旅館・レストラン等の関係者、生徒・児童等を対象に、個々の会員が実施するリネンサプライ工場の見学会を、6工場で実施した。

(3) ホームページの管理運営

ホームページの更新及び管理を行った。なお、セキュリティの向上のためSSL（暗号化通信）を導入した。 <https://www.jlsa.or.jp/>

9. 正会員各社の現況調査

正会員各社の協力を得て、令和5年8月1日現在の年度決算総売上、リネンサプライ部門等部門別売上、工場数、社員数等の会員各社の現況調査を実施し、その結果を機関誌「リネンサプライ」新春号により公表した。

10. リネンサプライ技能実習評価試験事業

「外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律」に基づく試験実施者として技能実習評価試験（初級、専門級）を、監理団体及び実習実施者の要請に応じて全国各地で実施した。

なお、新型コロナ対策の一環として過年度に外国人の入国制限が行われた影響で、専門級の試験実施回数及び受検者数は低い水準にとどまった。

実施状況（延べ人数）

	試験回数	受検者数	合格者数	不合格者数
初級	222回	1,169名	1,123名	46名
専門級	35回	167名	167名	(実技) 0名
計	257回	1,336名	1,290名	46名

11. 協会理念の策定

協会設立50年を契機として協会の「理念」づくりを進めてきたが、令和5年8月、会長直属の「理念策定ワーキングチーム」を発足し、令和6年6月の公表を目指して全会員を対象とする「協会理念アンケート」を実施したほか、役員等の意見も聴取しつつ同チーム内の議論を重ねた。

12. 外国人材の受入れ継続に関する要請

令和5年12月、堀井正隆会長が厚生労働省を訪問し、武見敬三厚生労働大臣ほか関係局長、関係課長に対する要望書を提出し、業界における外国人材の受入れの維持・継続について強く要請した。

13. 災害義援金

令和6年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」により被害を受けられた一般被災者への生活支援のため、理事会（1月18日）の緊急決議のもとに、日本赤十字社を經由して義援金100万円を送った。

14. 会員数及び会員の異動状況

令和6年3月31日現在の会員数は、正会員161（定款第6条第1項第2号該当者4名を含む。）、準会員177、賛助会員73、合計411であり、令和5年度中の会員の異動状況は別紙2のとおりである。

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
現金手許有高	215,982	110,556	105,426
普通預金	46,215,157	59,721,329	△ 13,506,172
郵便振替金	6,375,023	40,963	6,334,060
通常貯金	4,103,183	4,103,060	123
現金預金合計	56,909,345	63,975,908	△ 7,066,563
(2) その他流動資産			
未収金	60,900	0	60,900
前払金	19,236	19,236	0
貯蔵品	110,895	44,993	65,902
その他流動資産合計	191,031	64,229	126,802
流動資産合計	57,100,376	64,040,137	△ 6,939,761
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	790,000	790,000	0
基本財産合計	790,000	790,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	4,806,975	4,958,750	△ 151,775
役員退職慰労引当資産	880,000	1,378,000	△ 498,000
財政安定引当資産	91,188,000	76,188,000	15,000,000
周年行事引当資産	4,000,000	3,000,000	1,000,000
特定資産合計	100,874,975	85,524,750	15,350,225
(3) その他固定資産			
建物附属設備	22,952	34,426	△ 11,474
電話加入権	72,800	72,800	0
敷金	1,452,960	1,452,960	0
その他固定資産合計	1,548,712	1,560,186	△ 11,474
固定資産合計	103,213,687	87,874,936	15,338,751
資産合計	160,314,063	151,915,073	8,398,990
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	572,488	394,021	178,467
前受金	3,978,700	5,750,300	△ 1,771,600
未払金	919,753	4,741,704	△ 3,821,951
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	1,528,400	1,564,700	△ 36,300
賞与引当金	1,733,400	1,375,000	358,400
流動負債合計	8,802,741	13,895,725	△ 5,092,984
2. 固定負債			
退職給付引当金	4,806,975	4,958,750	△ 151,775
役員退職慰労引当金	880,000	1,378,000	△ 498,000
固定負債合計	5,686,975	6,336,750	△ 649,775
負債合計	14,489,716	20,232,475	△ 5,742,759

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
基本金	790,000	790,000	0
指定正味財産合計	790,000	790,000	0
(うち基本財産への充当額)	790,000	790,000	0
2. 一般正味財産	145,034,347	130,892,598	14,141,749
(うち特定財産への充当額)	100,874,975	85,524,750	15,350,225
正味財産合計	145,824,347	131,682,598	14,141,749
負債及び正味財産合計	160,314,063	151,915,073	8,398,990